

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編21)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 署作権を守ることは必要だ。
ちよさくけん まも ひつよう

② 都道府県の県長所在地を覚える。
とどうふけん けんちようしよがいち おぼ

③ 登山で預上まで登る。
とざん ちようじよう のぼ

④ 塩の満ち引きは月が関係している。
しお み ひ つき かんけい

⑤ 遠足に行く運賃を計算する。
えんそく い うんちん けいさん

⑥ 心を病める場面に出会う。
こころ いた ばめん であ

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編21)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 署ちよさくけん作まも権ひつようを守ることは必要だ。

(著作権)

② 都道府県とどうふけんの県長けんちようしよざいち所在地おぼを覚える。

(県庁所在地)

③ 登山とざんで預上ちようじようまで登る。のぼ

(頂上)

④ 塩しおの満みち引ひきは月つきが関かん係けいしている。

(潮)

⑤ 遠足えんそくに行く運貸うんちんを計算けいさんする。

(運賃)

⑥ 心こころを病いためる場ばめん面であに出会であう。

(痛)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編22)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましよう。

① 絵えの典示会てんじかいに作品さくひんを出すだ。

② 答論会とうろんかいに出でて発表はつぴようする。

③ 正統せいとうに評価ひようかされる。

④ 料理りようりで砂唐さととうと塩しおを使うつか。

⑤ 武士ぶしが悪堂あくとうをこらしめる。

⑥ 算数さんすうの灘問なんもんに取り組とむ。

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編22)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 絵の典え てんじかい示会さくひんに作品だを出す。

(展示会)

② 答論会とうろんかいに出でて発表はつぴようする。

(討論会)

③ 正統せいとうに評価ひようかされる。

(正当)

④ 料理りようりで砂糖さとうと塩しおを使つかう。

(砂糖)

⑤ 武士ぶしが悪堂あくどうをこらしめる。

(悪党)

⑥ 算数さんすうの灘問なんもんに取とり組くむ。

(難問)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編23)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

ぎゆうにゆう えいよう ほうふ

① 牛浮は栄養が豊富である。

ただ こと かくにん

② 正しい答えを確任する。

のうぜい こくみん ぎむ

③ 農税は国民の義務である。

のう はたら ふめい てん おお

④ 能の働きには不明な点が多い。

りっぱ はな

⑤ 立波な花がたくさんさいた。

てら ぶつぞう おが

⑥ お寺で仏像を排む。

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編23)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 牛浮は栄養が豊富である。
ぎゆうにゆう えいよう ほうふ

(牛乳)

② 正しい答えを確任する。
ただ ことた かくにん

(確認)

③ 農税は国民の義務である。
のうぜい こくみん ぎむ

(納税)

④ 能の働きには不明な点が多い。
のう はたら ふめい てん おお

(脳)

⑤ 立波な花がたくさんさいた。
りっぱ はな

(立派)

⑥ お寺で仏像を排む。
てら ぶつぞう おが

(拝)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編24)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 写生で配景の色をくふうする。
しやせい はいけい いろ

② 人間は灰で呼吸している。
にんげん はい こきゆう

③ 非句は十七音節からできている。
はいく おんせつ

④ 学級で判長として努力する。
がつきゅう はんちよう どりよく

⑤ 朝番の冷えこみが厳しくなる。
あさばん ひ きび

⑥ 家族の安秘が心配である。
かぞく あんぴ しんぱい

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編24)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 写生で配景の色をくふうする。

(背景)

② 人間は灰で呼吸している。

(肺)

③ 俳句は十七音節からできている。

(俳句)

④ 学級で判長として努力する。

(班長)

⑤ 朝番の冷えこみが厳しくなる。

(朝晩)

⑥ 家族の安秘が心配である。

(安否)

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編25)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 出だされた意見いけんを非判ひはんする。

② 神必しんびてき的な風景ふうけいに出会であう。

③ たくさん食たべて満復まんぷくになる。

④ 思おもわぬ出来事できごとに興粉こうふんする。

⑤ 乾電池かんでんちを平列へいれつにつなぐ。

⑥ 台風たいふうで店みせを開鎖へいさする。

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編25)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 出だされた意見いけんを非判ひはんする。

(批判)

② 神しん秘び的てきな風景ふうけいに出会であう。

(神秘的)

③ たくさん食たべて満復まんぷくになる。

(満腹)

④ 思おもわぬ出来事できごとに興こう粉ふんする。

(興奮)

⑤ 乾電池かんでんちを平列へいれつにつなぐ。

(並列)

⑥ 台風たいふうで店みせを開鎖へいさする。

(閉鎖)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編26)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 化石の破辺を見つける。
かせき はへん み

② 友達の活動を補助する。
ともだち かっどう ほじよ

③ 年の幕れをむかえる。
とし く

④ 国法の建物を見学する。
こくほう たてもの けんがく

⑤ 昔からの友人を放問する。
むかし ゆうじん ほうもん

⑥ 交通事故の志望者が減る。
こうつうじこ しぼうしゃ へ

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編26)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 化石の破辺を見つける。

(破片)

② 友達の活動を補助する。

(補助)

③ 年の幕れをむかえる。

(暮れ)

④ 国法の建物を見学する。

(国宝)

⑤ 昔からの友人を放問する。

(訪問)

⑥ 交通事故の志望者が減る。

(死亡者)

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編27)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、まちがひがあります。まちがひがついている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましよう。

① 忘年会が関かれる。
ぼうねんかい ひら

② 鉄棒で逆上がりをする。
てつぼう さかあ

③ 図工で描いた絵の毎数を数える。
ずこう か え まいすう かぞ

④ 国際博覧会が開幕する。
こくさいはくらんかい かいまく

⑤ 実験で容器を秘閉する。
じつけん ようき みつぺい

⑥ 国際連名の会合がある。
こくさいれんめい かいごう

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編27)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、まちがひがあります。まちがひがついている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましよう。

① 忘年会が**関**かれる。
ぼうねんかい ひら

(開)

② **鉄**棒で逆上がりをする。
てつぼう さかあ

(鉄棒)

③ **図**工で描いた絵の**毎**数を数える。
ずこう か え まいすう かぞ

(枚数)

④ **国**際博覧会が**開**募する。
こくさいはくらんかい かいまく

(開幕)

⑤ **実**験で**容**器を**秘**閉する。
じっけん ようき みつぺい

(密閉)

⑥ **国**際連名の**会**合がある。
こくさいれんめい かいごう

(国際連盟)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編28)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 飛行機ひこうきの模形もけいで遊ぶあそぶ。

② 英語えいごの通約つうやくを依頼いらいする。

③ 勇便局ゆうびんきょくに勤務きんむする。

④ 大きな大会たいかいで有賞ゆうしょうする。

⑤ 四月しがつから幻ち園よう えんに入園にゆうえんする。

⑥ 意浴いよくを燃もやして活動かつどうする。

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

学 年
高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編28)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましよう。

① 飛行機ひこうきの模形もけいで遊ぶあそぶ。

(模型)

② 英語えいごの通約つうやくを依頼いらいする。

(通訳)

③ 郵便局ゆうびんきょくに勤務きんむする。

(郵便局)

④ 大きな大会たいかいで有賞ゆうしょうする。

(優勝)

⑤ 四月しがつから幻ち園ようえんに入園にゆうえんする。

(幼稚園)

⑥ 意浴いよくを燃もやして活動かつどうする。

(意欲)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編29)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 同窓会を羽年もう一度開さいする。

どうそうかい よくねん いちど かい

() ()

② 世の中が混覧した時代。

よ なか こんらん じだい

() ()

③ サケの産印が始まる。

さんらん はじ

() ()

④ 遊賢船に乗って見学する。

ゆうらんせん の けんがく

() ()

⑤ 学校の裏測に森がある。

がっこう うらがわ もり

() ()

⑥ 規立正しい生活を送る。

きりつただ せいかつ おく

() ()

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編29)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 同窓会を羽年どうそうかい よくねん いちどど かいもう一度開さいする。

(翌年)

② 世よ なか こんらんの中が混覧こんらんした時代じだい。

(混乱)

③ サケの産印さんらんが始まるはじめ。

(産卵)

④ 遊賢船ゆうけんせんに乗って見学けんがくする。

(遊覧船)

⑤ 学校がっこうの裏測うらがわ もりに森がある。

(裏側)

⑥ 規立きりつただ正しい生活せいかつ おくを送る。

(規律)

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう (6年編30)

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を()の中に書きましょう。

① 隣時の会議に出席する。

りんじ かいぎ しゅつせき

② 大きな声で教科書を郎読する

おお こえ きょうかしょ ろうどく

③ 言輪の自由が守られる。

げんろん じゆう まも

④ 発表に対して意義を唱える。

はつぴよう たい いぎ とな

⑤ 出された意見を反栄させる。

だ いけん はんえい

⑥ 貴長品は各自で保管する。

きちようひん かくじ ほかん

() () () () () ()

() () () () () ()

学 年

高

漢字の書きまちがいをなおそう（6年編30）

年 組 氏名

☆ 次の文に使われている漢字には、一つまちがいがありません。まちがっている部分に―線をひき、文の内容にふさわしい漢字を（ ）の中に書きましよう。

① 隣時りんじの会議かいぎに出席しゅつせきする。

（ 臨時 ）

② 大きな声おおこえで教科書きょうかしょを朗読ろうどくする

（ 朗読 ）

③ 言輪げんろんの自由じゆうが守まもられる。

（ 言論 ）

④ 発表はつぴように対してたい意義いぎを唱となえる。

（ 異議 ）

⑤ 出だされた意見いけんを反映はんえいさせる。

（ 反映 ）

⑥ 貴長品きちようひんは各自かくじで保管ほかんする。

（ 貴重品 ）